

第6回名古屋セプシスフォーラム

～敗血症診療バンドル～ Global Sepsis Alliance in NAGOYA ～

ご挨拶

敗血症は、感染症を原因とする全身性炎症反応病態です。感染症罹患時に医療従事者は、この敗血症による病状変化を適切に把握する必要があります。名古屋セプシスフォーラムは、2011年4月に開催して以来、今回で6回目の開催となります。2013年9月13日 World Sepsis Day (世界敗血症デイ) では、Global Sepsis Alliance (国際敗血症連盟) と提携して、名古屋大学病院で前夜祭として名古屋セプシスフォーラムが開催されました。今、敗血症管理を学ぶことで、重症患者管理の基本が理解でき、さまざまな病態の全身性炎症性反応の管理を最適化できます。感染症の早期発見・早期治療を含め言葉とし、名古屋セプシスフォーラムは、さまざまな診療科の皆さん、コメディカルの皆さん、医学生の方々の参加を広くお待ちしております。敗血症の診療国際水準を高めるためのフォーラムとなります。

発起人代表 松田直之

日時：2014年4月19日(土) 15:00～18:30

場所：名古屋マリオットアソシアホテル16階「アイリス」

名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 TEL:052-584-1111

プログラム

開会の挨拶 15:00～ 松田直之先生

セッションⅠ 15:10～(講演50分 討論10分)

座長：愛知医科大学病院 周術期集中治療部 教授 島山登先生

『全身性炎症管理バンドル2014』

- 多施設臨床研究基盤の構築 -

演者：名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学分野 教授 松田直之先生

セッションⅡ 16:10～(講演50分 討論10分)

座長：藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授 西田修先生

『話題の耐性菌と新しい抗菌薬療法の可能性』

- Sepsis に対する新しい治療戦略を含めて -

演者：東邦大学医学部医学科 微生物・感染症学講座 教授 館田一博先生

～ 休憩 10分 ～

セッションⅢ 17:20～(講演50分 討論10分)

座長：三重大学医学部附属病院 救命救急センター センター長・教授 今井寛先生

『集中治療領域における急性血液浄化法の意義』

演者：大阪市立総合医療センター副院長、救命救急センター、集中治療センター所長
医療安全管理部長 嶋岡英輝先生

閉会の挨拶 18:20～ 藤田保健衛生大学医学部 救命救急医学 教授 武山直志先生

※参加費として1,000円申し受けます(学生は除く)

※講演会終了後、情報交換会の場合をご用意しております。

共催：名古屋セプシスフォーラム事務局

旭化成ファーマ(株) ホスピラ・ジャパン(株) ニファイサー(株)